

～レースレポート TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge～

2026年 第5戦 渋川 伊香保



ドラシャ折れリタイヤ
2戦連続の洗礼を浴びる

2026/6/25(土)～2026/6/26(日)

群馬県渋川市

<p>■ 大会概要</p> <p>日程: 2026/6/25(土)～6/26(日)</p> <p>場所: 群馬県渋川市</p> <p>総走行距離: 78.139km SS 区間 12.448km</p>	<p>■ スペシャルステージ設定</p> <p>SS1: 3.415km SS 順位 16 位</p> <p>SS2: 2.285km SS 順位 17 位</p> <p>SS3: 0.524km SS 順位 21 位</p>	<p>SS1: 3.415km SS 順位 24 位</p> <p>SS2: 2.285km SS 順位 R</p> <p>SS3: 0.524km SS 順位 R</p>
---	---	--

■ リザルト CH-2: YARIS/Vitz ガソリン車(MXPA10/NCP131/NCP91) リタイア/28台

23	164	野苺家 瑠衣	野苺家 宏一	ヴィッツ	NCP131	ALEX GF RSCCヴィッツcvt	4:35.4
24	173	小栗 春香	小栗 正裕	ヴィッツ	NCP91	Team Akiyama ヴィッツ	5:32.7
25	176	ヴー タン	麻生 翔太	ヤリス	MXPA10	ネッツ千葉シュポルトYaris	5:23.2
-	158	加藤 光空	杉浦 真吾	ヴィッツ	NCP131	GLW Racing 1st Vitz	4:06.8
-	156	平田 優	平田 幸子	ヤリス	MXPA10	ヤリスカップカー	DNS

ダイジェスト

6/25～6/26 に群馬県で開催された TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge 第5戦 渋川 伊香保に GLW Racing Team が参戦。

今シーズンは新入社員の加藤光空をドライバーに据え、コ・ドライバーの杉浦真吾がサポートする体制で挑み、本戦がシーズン2戦目だ。



加藤・杉浦ペアの打合せを後ろで見学する学生インターン

秋名山の麓に位置し頭文字Dの聖地として知られる渋川市は、元々アニメツーリズムで人気を博しているだけでなく近年は継続的にラリーチャレンジの会場にもなっており、ラリーツーリズムを通じたまちづくりにも積極的な市だ。

前回モータースポーツ初参戦を飾った加藤は、2戦目となる本戦では前戦以上の結果を残したい。

安定しない天候が続くが、幸いにも午前中の降雨は回避。

前日のレッキから、路面が完全に乾くことはなく確実にウェットコンディションでの出走となるということが分かっている。

特に林道区間ではグレーチングや苔もあり、慎重なライン取りが鍵となりそうだ。最初のSS1は今大会最長の区間。スタートには失敗したものの、グリップの利かない路面にしては悪くない走りを見せる。

しかしSS区間後半では、少しでもタイムを削ろうとエアコンを入れていなかったことが災いし、フロントガラスの大部分が曇ってしまう事態に。

結果後半は攻めきることができず、結果クラス内16位という、前回と同じ順位でSS1を終える。

SS2はリエゾン区間も短く修正することができず、似たような17位という結果であった。

このようなコンディションでの経験値の低さを露呈した結果と言える。

苦手としているパーク内のSS3では適切なラインを見つけることができず、21位に沈んだ。

午前中を終えてVitz勢だけで見てみても4番手と、午後の大幅な巻き返しが求められる状況であった。



前回同様パーク内で下位に沈む加藤・杉浦ペア

さて後半スタート。昼休み中に改善点を洗い出し、心機一転臨んだSS4。

過去最高のスタートを決めたと思われた矢先、車両下方から何かが破裂したような音が。既にスタートを切ってしまった手前、左側の操舵が全く利かない状況であったものの、何とかSS出口まで走り切ることを選択。

バンクであればリエゾン区間まで逃げ切ってしまう、SS5までにスペアタイヤをつけ替えればなんとか競技続行が叶うだろうという一縷の希望を残して…。

ところがSS区間をなんとか走り抜けた後に車両を確認してみたところ、ドライブシャフトが折れていることが判明。

当然その場での修理は困難で、問答無用でリタイヤせざるを得ない状況に。

雨が深々と降る中、粛々とリタイヤ届を提出し、なんとかパークまで自走で戻ることができた。



雨の中セレモニアルスタートを迎えるVitzと加藤・杉浦ペア

【ドライバーコメント】

加藤光空選手：今回のレースはメカトラブルによるリタイアという悔しい結果になってしまいましたが、スタートのコツや、トラブル時にはどのように行動すればよいかなどを学ぶことができ、とても良い経験になりました。
次戦の恐竜 勝山では、これらの経験を存分に発揮し、少しでも良い順位が取れるように頑張りたいと思います。

【コ・ドライバーコメント】

杉浦真吾選手：前半はもう少し上手くドライバーの加藤選手をアシストできたと反省すべき点が多かったため、まずは次戦に向けてしっかりとシミュレーションを重ねていきます。
午後のドライブシャフトのトラブルは純粋な部品の寿命と思われる点が多く、ある程度仕方がないものであったと変に落ち込まないようにしています。
むしろサービスのメンバーも含めてこのようなトラブル対応のシチュエーションに遭遇でき、チーム全体としての経験値がさらに上がったことに喜びを感じています。

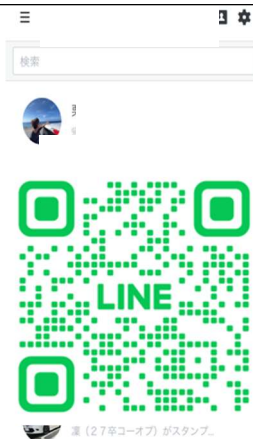


リエゾン区間に駐車し、全競技車両が通過していくのを見守る哀し気な佇まいのVitz

各種 SNS やっています！

公式 LINE

候補者との主要連絡手段



YouTube

日本語 8 割・英語 1 割・ベトナム語 1 割



X

主にレースについて発信



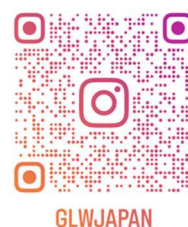
Linkedin

海外向け情報発信・採用



Instagram

リール投稿してます！



GLW について

GLW は、モビリティ業界において専門技術サービスを提供するビジネスソリューション企業です。

社員一人ひとりの持つ技術力を武器に、受託開発や技術コンサルティング、エンジニア派遣サービスを展開しています。創業 5 年目の若い会社ですが、社員数は既に 130 人を超えており、日本中の自動車メーカーおよびサプライヤーの設計開発業務を支えています。

社員構成上の特徴は、外国籍社員の割合が 7 割以上である点です。豊かなダイバーシティと技術力の掛け算で、日本のモビリティ業界を変革に導きます。

GLW Racing Team は社員チームに拘り、モータースポーツと設計の良いフィードバックループを生み出し、もっと良いクルマづくりに貢献します。今シーズンは GR86/BRZ Cup、TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge に参戦します。

<メディアからのお問合せ先>

株式会社 GLW 人材開発室 室長 杉浦 真吾

TEL: 045-900-8393 E-mail: newg-recruit@glw.co.jp

